



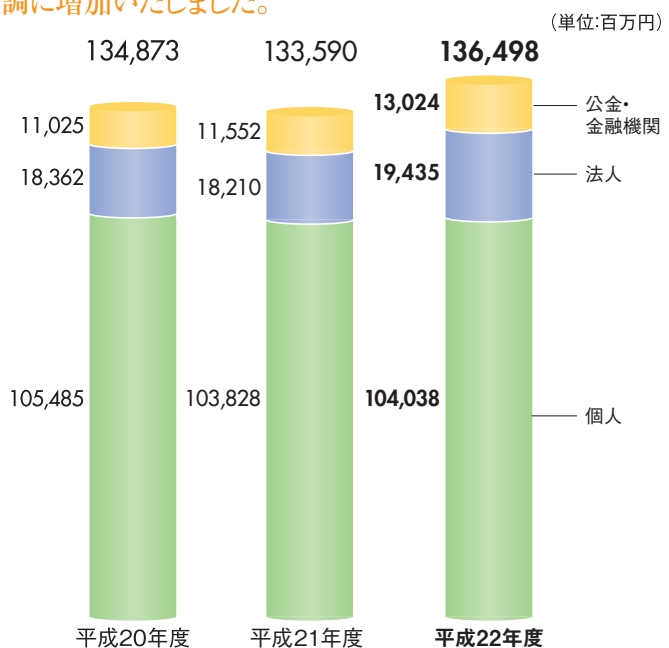
## 業績ハイライト

貸倒引当金戻入益等の特殊要因剥落や、資金利益の減少により減収減益となりましたが、最終利益であります当期純利益は350百万円と堅調な決算となりました。

### ④ 預金積金残高

個人のお客さまからのご支持をいただき、主力の個人預金が堅調に増加した他、法人預金・公金預金においても順調に増加いたしました。

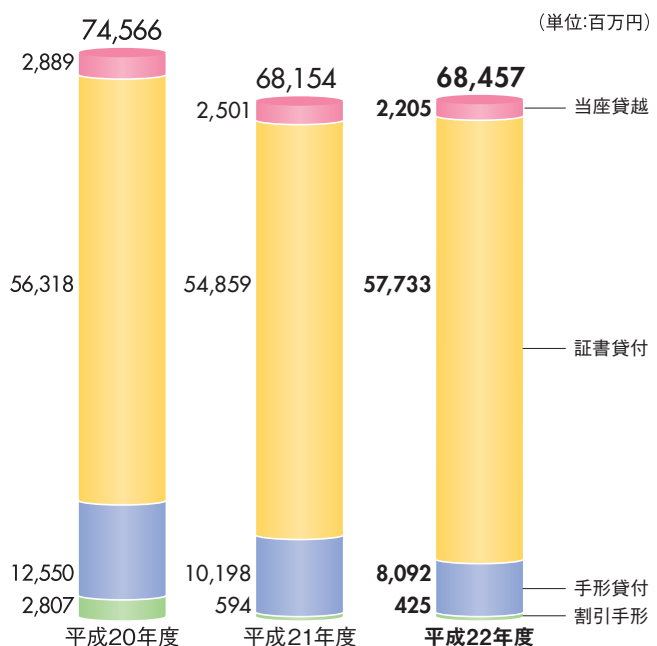
平成22年度(平成23年3月末)の総預金残高(譲渡性預金を含む)は1,364億円となりました。預金量のうち76.2%が個人のお客さまのご預金となっており、堅調に増加したことに加え、法人預金や公金・金融機関預金でも増加したことから総体では前年度対比29億円の増加となりました。



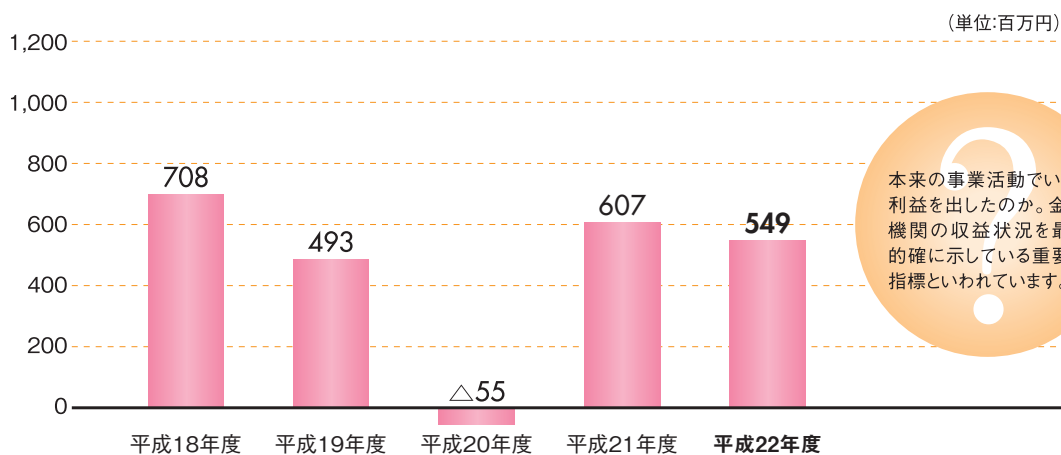
### ⑤ 貸出金残高

法人を中心とした医療・介護関連設備やアパート資金などの需要を背景に増加いたしました。

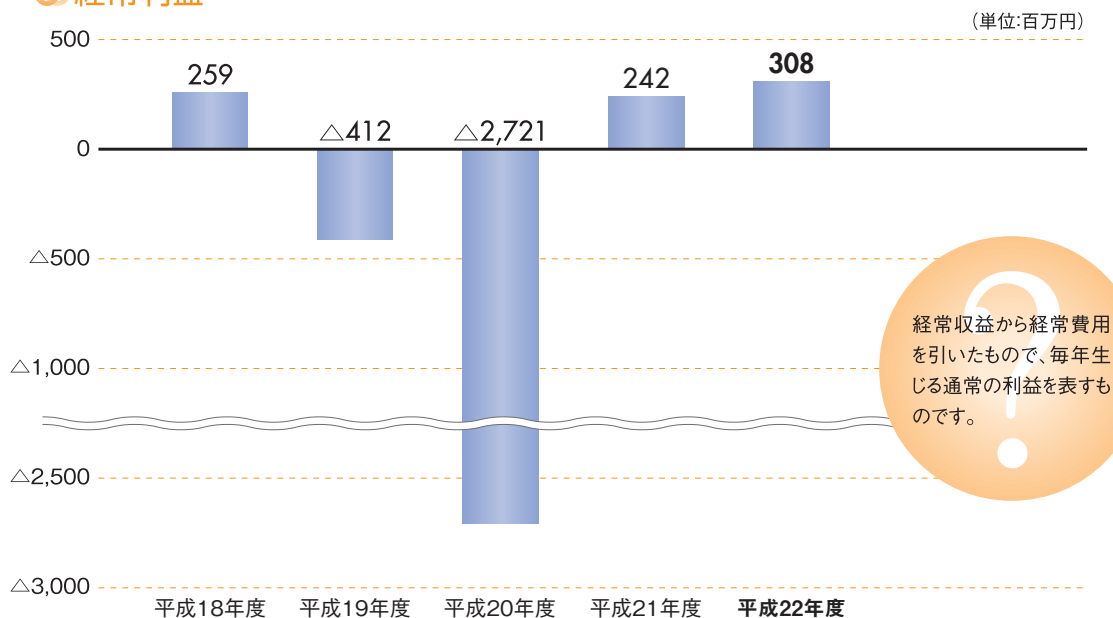
平成22年度(平成23年3月末)の総貸出残高は684億円となりました。厳しい経済環境の影響を受け企業の資金需要が減退する一方で、法人を中心とした医療・介護関連設備やアパート資金借換えなど需要が増加したことにより前年度対比3億円の増加となりました。



## ④ 業務純益



## ⑤ 経常利益



## ⑥ 当期純利益

